

## 卒業40年目のクラス会報告

2018年11月19日

S53年クラス幹事

久保田 秀夫

**本学最後の造船工学科卒**である昭和53年卒のクラスは、卒業時にオリンピックの年にクラス会を開催しようと約束し、爾来、4年ごとにクラス会を開催してきました。

一昨年（2016年）のリオデジャネイロ五輪の際に知多で開催したクラス会で、全員が還暦を迎えたこともあり、今後は夏季五輪の年だけではなく冬季五輪の年にも開催しようということになり（即ち4年ごとの開催から2年ごとの開催に変更）、今回初めて冬季五輪の年に開催となりました（既にお忘れの方もいらっしゃるかとは思いますが、今年は2月に平昌で冬季五輪が開催されました）。

2年に1回となり参加人数の減少が懸念されましたが、卒業生34人中16人とほぼ半数が会場の「KKR 沼津はまゆう」に集まりました。今回の幹事は、山口貢三君が一人で務めて

くれました。クラス会に先立っての三島カントリークラブでのゴルフ会（酒井、植田、渡辺、山口貢、久保田の5人が参加）のアレンジも含め宿泊先の手配、二次会の飲み物、つまみの調達まで完璧に幹事役をこなして下さいました。



夕刻から始まった宴会では、各自が近況報告を行ったのですが、久しぶりにクラス会に参加した者もいて、2時間の宴会時間中には全員まで回らず、幹事部屋で開催した二次会の席で続きが行われました。

我がクラスは、今年で卒業40周年を迎えますが、**誰一人欠けた者がいないというのが誇り**です。学業の方では、森下副学長を輩出して入るものの決して自慢できるようなクラスで



はありませんが、心身ともに丈夫な輩の集まりということでしょうか。それを証明するかのように二次会は延々と朝4時まで続いたとのこと。ゴルフのため朝早く車で参加した小生は、翌日の運転のことも

あり早々に退散したので、何を肴にそんなに遅くまで飲んでいたのかは知る由もありませんが、還暦を過ぎても学生時代のような飲み方ができるというのは「頭脳より身体」の何よりの証左かと思えます。

今回参加した面々の7割近くは、まだ何らかの形で仕事を続けていますが、残りの3割強は悠々自適の生活を送っているようです。

次回は、植田君を幹事長に横浜在住者が幹事団となり、40年前とは様変わりしたキャンプや懐かしの弘明寺周辺の探訪をメインに東京五輪の年に、横浜にて開催することとに衆議一致しました。

＜今回のクラス会関係データ＞

開催日：2018年11月17日（土）・18日（日）

開催場所：KKR 沼津はまゆう

参加者（五十音順、敬称略）

荒井、植田、小楠、勝山（旧姓：鈴木）、久保田、斉藤、酒井、塩見、杉浦、瀬戸、寺田、原、堀内、山口（貢）、山口（仁）、渡邊



「KKR 沼津はまゆう」の裏手の駿河湾の夕景と御用邸の木々越しに臨む朝の富士（久保田撮影）